



サバイブ水田農業経営研究会

第一回総会開かる

12月3日・茨城県美浦村



会場は参加者で満員となった。交流会は円卓会議の形式で行われ活発な意見交換がなされた

平成11年12月3日(金)、茨城県美浦村の花王研修所で、サバイブ水田農業経営研究会第一回総会が開催された。

全国から乾田直播栽培に取り組んでいる農業経営者と、農水省をはじめとする公的機関、農機メーカー、研究者合わせて約100名が参加した。

今回の特筆すべき点は、乾直の技術論にとどまらず、田畠輪換までを見据えた経営の問題として討論がなされたことにある。

研究会は座長の農林水産金融公庫・神尾正義

氏の進行により14時から始まり、まず秋田県大潟村・矢久保英吾、新潟県岩室村・藤田道夫、福井県福井市・水戸守一、岐阜県海津町・高木健一の各氏より基調報告及び汎用圃場での田畠輪換への取り組みが報告された。

続いて、上川農試・五十嵐俊成、農研センターライ・森田弘彦、農工研・藤森新作、空知支庁・千葉佳彦の各氏からの話題提供があつた後、総合討議に入り、質疑応答の形で熱のこもつた意見交換がなされた。

生研機構・姫田正美、農水省農蚕園芸局農産課・寺田博幹の両氏が総評を述べ、完成された移植栽培体系に安住せず、将来のために敢えて



副会長に選出された藤田道雄氏



矢久保英吾氏



進行役の神尾正義氏



副会長に選出された高木健一氏



副会長に選出された水戸守一氏



会長に選出された桜井博文氏



総評を述べた農水省農蚕園芸局農産課の寺田博幹氏



農工研の藤森新作氏



上川農試の五十嵐俊成氏



生研機構の姫田正美氏



空知支庁の千葉佳彦氏



農研センターの森田弘彦氏

また、研究会に続く総会では、会長に千葉県八千代市・桜井博文、副会長に秋田県大潟村・矢久保論(英吾氏の御子息)、前出藤田、水戸守、高木の各氏が選出され、懇親会では農業経営者と官・民の業界関係者たちが名刺交換等で交流を深めていた。

なお詳細については、「サバイブ水田農業経営研究会通信」(問い合わせ 0298-38-7642)を参照されたい。

乾直に取り組み、田畠輪換を確立しようとしている農業経営者たちへの共感と支持が表明された。